

## 「こうべ森の文化祭 2021」の開催について

神戸農林振興事務所 森林課 土井幸亮

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(社会全体で支える森づくりの推進)

### 1 はじめに

六甲山の森林や自然と触れあいながら植樹体験や丸太切り体験、森の材料を使ったリースや打楽器創り、キノコ観察会、木製遊具等を楽しむ「こうべ森の文化祭 2021」が、神戸市の六甲山中腹にある再度公園(ふたたびこうえん)で開催されました。

当該イベントは神戸市と「六甲山の仲間たち」が主催して 2002 年から毎年開催されているもので、昨年度はコロナ禍の影響で中止となつたため2年振りの開催となりました。

「六甲山の仲間たち」は、六甲山をフィールドに森を守る活動や六甲山の魅力を伝える活動を行っている「こうべ森の学校」や「ドングリネット神戸」、「ブナを植える会」、「NPO 六甲山と市民のネットワーク」など様々な団体等で構成されています。

神戸農林振興事務所では神戸市の要請を受けて、この「六甲山の仲間たち」の一員として当該イベントに検討会から参加して来場者を対象とした林業普及活動をしており、今年度は子供を持つ都市部県民に木の良さに触れる木製遊具で遊んでもらったり、身近にいる六甲山周辺の野生動物を知つてもらう剥製・パネルの展示等を実施しました。

また、スタンプラリーとして県木(クスノキ)をテーマとした出題を行い、来場した県民に県木であるクスノキを知つてもらう機会を設けました。

### 2 内 容

(1) 日 時 令和3年10月24日(日) 10:00～15:00

(2) 場 所 神戸市北区山田町下谷上 再度公園「森の遊び場」周辺

(3) 主 催 神戸市、六甲山の仲間たち(※)

※こうべ森の学校/こうべ森の小学校&ようちえん/摩耶の森クラブ/ドングリネット神戸  
神戸キノコ観察会/(一社)ブナを植える会/東お多福山草原保全・再生研究会  
NPO 法人六甲山と市民のネットワーク/兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会  
六甲山専門学校/伊藤ハム(株)/エヌアールエヌアール(株)  
環境省神戸自然保護官事務所/兵庫県神戸農林振興事務所  
兵庫県六甲治山事務所/神戸市立森林植物園/(公財)神戸市公園緑化協会  
神戸市防災課/神戸市森林整備事務所 以上が R3 年度参加の団体・法人等

(4) 来場者 イベント全体:約1,000人(公表数:受付の検温シール貼付者数でカウント)

※神戸農林振興事務所出展:親子約50組(延べ約100人)が来場

スタンプラリーは延べ約300人が参加

## (5) プログラム

### <時間制・定員制プログラム>

- ・コバノミツバツツジの植樹体験(こうべ森の学校)
- ・子供丸太切り体験(こうべ森の学校/神戸市森林整備事務所)
- ・森でおまつり(こうべ森の小学校&ようちえん) ※森の材料でハロウィン用お面作成
- ・粘菌観察(摩耶の森クラブ)
- ・キノコ観察ツアー(神戸キノコ観察会)
- ・森のコンサート(NPO 法人六甲山と市民のネットワーク)
- ・オリエンテーリング(六甲山専門学校)

### <随時開催プログラム>

- ・こうべ森の学校………木工作品展示・販売
- ・摩耶の森クラブ………粘菌の標本展示
- ・ドングリネット神戸………木の枝インディアンクロス作製体験
- ・神戸キノコ観察会………生キノコの展示、写真パネル展示
- ・(一社)ブナを植える会…紙芝居上演、絵本配布、木の名札作り体験、活動写真展示
- ・兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会
  - …紙芝居上演、間伐材で小物づくり体験、活動紹介、緑の募金
- ・六甲山専門学校………六甲山グッズの展示・販売
- ・環境省神戸自然保護官事務所…外来生物の標本・パネル展示、リーフレット配布
- ・兵庫県神戸農林振興事務所……木製遊具の展示・利用

### 六甲山周辺の野生動物の剥製・パネル展示

- ・兵庫県六甲治山事務所…六甲山の治山の歴史紹介(パネル、立体模型展示)
- ・神戸市立森林植物園……丸太ボーリング、森林植物園リーフレット配布
- ・神戸市防災課/(公財)神戸市公園緑化協会
  - …木の葉や果実を使った工作体験、六甲山もりづくり基金紹介
- ・伊藤ハム(株)………CSR活動のパネル展示
- ・エヌアールエヌアール(株)…ドライフラワー＆フラワーアレンジメントの展示・販売

## 3 結果・考察

再度公園は神戸市街中心部（中央区、灘区、東灘区、兵庫区、長田区等）からも近く、アクセスも良いため日頃から神戸市民の憩いの場となっているほか、無料の駐車場なども完備されているため六甲山登山やハイキングの拠点としても利用されている。

また、周辺は明治期から治山事業等による植栽で自然林に近い二次林として保全されており、多種多様な樹木があることから森林浴など手軽に森林を楽しめるスポットとして都市住民を対象とした林業普及活動をするのに最適な立地条件を備えている。

このような立地条件に加え、当該イベント開催当日は風もほとんど無い穏やかな秋晴れに恵まれ、例年にも増して来場者が多かった。

特に地元の小学校（こうべ小学校ほか）からの親子での来場者も多く、木製遊具で遊ぶために何人も順番待ちが出るなど盛況に普及活動を実施した。

また、県木であるクスノキは意外と認知度が低かったが、実物をヒントとして見せたり匂いを嗅いでもらったりすると、「学校にあるわ」「家の近所の並木や」といった反応が多くあり、「これが県木か」と多くの人に覚えてもらう良い機会となった。



出展全景（テント2張）



木製遊具（年輪の里から借用）



大甲山周辺の野生動物

(森林動物研究センターから借用)



木製遊具で遊ぶ親子



木製遊具で遊ぶ家族



木製遊具の順番待ち



木製遊具で遊ぶ家族



木製遊具を楽しむ来場者



剥製を熱心に見る来場者

#### 4 今後の取組・課題

都市部の県民等に森林で遊ぶ楽しさや大切さ、木の良さ、身近に生息する野生動物などを知ってもらったり、再認識する機会として重要なイベントであり、林業普及活動の場としても貴重なものであることから、神戸市と連携して可能な限り今後も継続して対応していきたい。

また今後は、楽しく遊んだ体験が暮らしの中での木材製品の積極的な利用や将来の木造住宅等の木材利用に繋がるような体験型の林業普及活動を考えていきたい。

#### 5 課題に関わった普及指導員

神戸農林振興事務所 林業普及指導員 土井

## 高校生の夏休みの課題【森林・林業】についての対応

阪神農林振興事務所 野村恵美

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(社会全体で支える森づくり運動の推進)

### 1 はじめに

現役の高校生から農林事務所に、「夏休みの課題に『森林・林業に関するここと』を選択した。疑問に思っていることについて教えてほしい」との依頼がありました。

疑問(質問)については、素朴ですが非常に深い内容でまじめに課題と向き合っている様子が伺え、また、高校生が森林や林業に興味を持った理由にも興味があり、依頼に応じることとなりました。

<質問内容>

- ① 林業関係の仕事で、直接、木の面倒を見る以外の仕事にはどのようなものがありますか
- ② 林業の世界に入るために学んでおいた方が良いことはありますか
- ③ 木を(次世代に)残すこととはどのような意味がありますか

### 2 内容

- (1) 日 時 令和3年8月6日（金）13:30～15:30  
(2) 場 所 農林事務所内会議室  
(3) 普及対象者 兵庫県立今津高等学校総合学科[\*] 1年生(女子) 1名  
\*総合学科は単位制で普通科目以外の専門科目を履修可能  
(4) 応対者 阪神農林振興事務所 里山・森林課 野村恵美  
(5) 内 容

- ・質問①については、林野庁発行の「人 to 木」を教材に使用し、木地師の仕事や炭焼き、原木しいたけの生産、原木市場や製材所で木材と関わる業務、また大工や工務店などの木造住宅に係る仕事など多岐に渡る職種があることを説明し、県内で活躍している主な人や事業者を紹介しました。
- ・質問②については、兵庫県立森林大学校のシラバスを用いて紹介しましたが、自分の興味のある分野から知識を増やしていくことを勧めました。
- ・質問③については、森林の公益的機能、木材利用の意義に関して林業白書などを資料に説明しました。

### 3 結果・考察

- ・7月に発生した静岡県熱海市の土石流災害を絡めて、森林の機能を説明したところ山の仕事について大変興味がある様子で、課題に選択した理由が今回の災害も一因したのではないかと想像されました。
- ・また、森林大学校のオープンキャンパスへの参加を勧めた結果、一人で参加したとのことや後日届いた札状に「今後も木に関わる職業について自主的に調べていきたい」との報告があったことから、林業への興味と学習意欲の更なる向上が期待できると思いました。

### 4 今後の取組・課題

- ・今回のような課題解決的な学習方法への情報提供は、偏向した内容は極力避けて多岐渡る範囲の情報を提供することが大切であると思われたことから、普段から情報ソースを広く持つておくことの必要性を痛感しました。

### 5 課題に関わった普及指導員

阪神農林振興事務所 林業普及指導員 野村恵美

## 森林ボランティア活動地での松林の手入れ

阪神農林振興事務所 野村恵美

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(多様な主体による森づくり活動の推進)

### 1 はじめに

森林ボランティア団体から、マツタケ山の整備に関する指導要請がありました。

要請内容は、①森林ボランティア活動地(2箇所)のマツ林の整備状況の診断(講評) ②一般的なマツ林整備についての講義(セミナー) の2点で、森林林業技術センターの藤堂上席研究員のご指導を仰ぎつつ、森林ボランティアの活動を活発化させ里山林整備の促進を図るべくマツタケ山の整備についての普及をしました。

活動地は、最近には珍しく、マツ枯れや獣害のない健全な若いアカマツ林でした。

残念ながら、シロの確認はできませんでしたが、藤堂上席研究員によると人工的にマツタケの胞子を播種するよりも、地道に除伐や地掻きをして胞子が定着しやすい環境を整えてシロの増殖を図っていく方法が最良とのことで、今後も里山林の整備を継続することを勧めました。

当日地元主催のイベントが開催されていたこともあり、講義(セミナー)には、ボランティア以外の町民の飛び入り参加もありました。



丹波篠山市桑原

### 2 内容

- (1) 日 時 令和3年12月12日（日）10:30～16:00  
(2) 場 所 ・講評(活動地) ①丹波篠山市桑原、②猪名川町柏原  
・セミナー 猪名川町大野山頂上管理棟  
(3) 普及対象者 ひょうご森の俱楽部ほか 16名  
(4) 指 導 者 県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター  
上席研究員 藤堂千景

(5) 内 容

<診断(講評)>

アカマツ林の生育状況と林相を見て、今後の施業方法を指導

<講義(セミナー)>

「マツタケ整備をする前にマツタケのことを知ろう」という  
題で藤堂上席研究員による講義



シロの状況

### 3 結果・考察

現地で視察、診断することにより、現場に即した具体的な整備方法の指導ができました。

また、科学的な見地に基づいた講義内容は、日頃、マツタケ林整備に関して漠然とした知識で活動しているボランティアにとって、施業の意味を再認識できる良い機会になりました。

ボランティアの中には昔、マツタケが沢山とれた山を知っている人も多く、再びマツタケが発生することを夢見て活動に一層励んでほしいと思いました。



### 4 今後の取組・課題

管内に、健全で若いアカマツ林の現地が存在することを知りました。

今後、里山林の活用としてマツタケ山の再生も森林ボランティアに普及していくことが可能だと考えます。



猪名川町柏原

### 5 課題に関わった普及指導員

阪神農林振興事務所 林業普及指導員 野村恵美、森本祥子

## 「森林・林業の出前授業」の開催について

洲本農林水産振興事務所 大橋正知

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(社会全体で支える森づくりの推進)

### 1 はじめに

洲本市内の小学校五年生の担任の先生から林業に関する授業をしてほしいという依頼があり、子供たちへの教育が非常に大切であると考え、出前授業を実施しました。

### 2 内容

日 時：令和3年12月9日（木）9:30～10:30

場 所：洲本第三小学校

参加者：81人の児童

授業の内容：

#### （授業のポイント）

- (1)教科書の内容に沿った構成としました。
- (2)洲本市の森林面積の割合や地域で大切にされているマツ林など、身近な森林に関する内容をクイズ形式にすることで、児童の興味がわくよう授業を進めました。

#### （主な授業の項目）

- (1)世界・日本・洲本市の森林面積
- (2)天然林と人工林の違い (3)人工林の手入れ
- (4)森林の役割 (5)森林の資源利用



出前授業の様子

#### 問題2 この木はなんの木？ 答え マツ



クイズ形式の授業

### 3 結果・考察

児童から多数質問がありました。質問コーナー終了後も複数の児童から追加の質問があり、森林に興味をもってくれたことを実感しました。

また、担任の先生からも他の小学校にも推薦しておこうと言われるなど、今後、他の小学校からの出前授業の依頼が期待できます。



出前授業の内容（森林の役割）

### 4 今後の取組

林業が盛んでない地域でも森林整備は必要です。地域社会全体で森林整備を進めていくうえで、今後も引き続き、出前授業の実施に取組む必要があります。

### 5 課題に関わった普及指導員

洲本農林水産振興事務所 森林課 所長補佐兼課長 上野茂樹、主査 大橋正和

## 兵庫県立大学 環境人間学演習における講義協力について

光都農林振興事務所 妻形淳史

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(社会全体で支える森づくり運動の推進)

### 1 はじめに

兵庫県立大学（環境人間学部）が大学2年生を対象として実施する演習（目的：持続可能な循環型社会の構築に向けた森林資源の活用方法を学ぶ）について、大学からの依頼で(株)山崎木材市場が当演習の講義・現地見学先として協力することとなった。さらに木材市場から光都農林振興事務所あて、素材生産など川上側の部分についての講義協力依頼があり、学生の理解を深める貴重な機会であるため、森林林業技術センターと連携して演習を支援した。

### 2 内容

- (1) 日 時：令和3年7月3日（土） ①10:00～12:00、②14:00～16:00
- (2) 場 所：(株) 山崎木材市場（宍粟市山崎町須賀沢）
- (3) 内 容
  - ① 川上における木材生産と森林資源活用の意義について  
(講師：光都農林振興事務所 森林第1課 妻形)
  - ② 川中における木材市場のはたらき、原木土場視察  
(講師：(株) 山崎木材市場 東専務（兵庫県指導林家）)
  - ③ 研修のふりかえりと質疑（コーディネータ：森林林業技術センター 小長井林業専門技術員）
- (4) 参加者：大学2年生24名（午前：12名、午後：12名）



### 3 結果・考察

演習は木材市場、光都農林振興事務所が講師、森林林業技術センターが全体のコーディネータを務めるなどして実施した。伐木などの素材生産作業の動画紹介や市場土場の仕分け作業等の見学により、学生が普段目にすることのない林業・木材産業の現場に触れてもらうことができた。質疑応答においては、「国産材自給率が上昇しているのに何故国産材価格が低迷しているのか?」、「湿度が高いと木材の相場が下がるのか?」などの質問があり、興味を持って演習を受講していたことが伺えた。今後もこうした機会を逃さずに積極的に林業普及に取り組みたい。

### 4 課題に関わった普及指導員

森林林業技術センター 林業専門技術員 小長井信宏  
光都農林振興事務所 林業普及指導員 妻形淳史

## 宍粟市の小学生への森林環境学習講座について

光都農林振興事務所 宗接 聖史

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(社会全体で支える森づくり運動の推進)

### 1 はじめに

宍粟市が市内の小学生を対象に森林環境学習を進めており、その一環で当方に講義依頼があった。地元小学生の森林への理解を深める貴重な機会であるため講義を行った。

### 2 内容

- (1) 日 時：令和3年7月6日(火) 9:00～10:00、令和3年10月1日(金) 13:00～14:00
- (2) 場 所：宍粟市役所 7/6 2階会議室、  
10/1 1階ロビー横休憩スペース
- (3) 内 容  
森林のはたらきについて（公益的機能とその効果を發揮するための林業）
- (4) 参加者：  
7/6 山崎西小学校 4年生 21名  
10/1 神野小学校 4年生 21名 計42名



### 3 結果・考察

対象の児童は、事前によく学習しており、また講義中も熱心に鉛筆を走らせていました。また、質問もたくさんあり関心の高さが伺えた。今後も市と連携しこのような講義を実施して児童の理解を深めていきたい。

### 4 課題に関わった普及指導員

光都農林振興事務所 林業普及指導員 宗接 聖史、谷口 英樹、平野 修之

## 西播磨山城の眺望復活大作戦

光都農林振興事務所 谷口 英樹

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(多様な主体による森づくり活動の推進)

### 1 はじめに

西播磨県民局では、130 以上ある山城を活用して、地域への更なる交流人口の拡大を図る様々な取組を推進しています。

その中で農林の役割は、史跡ブームで人気を集める山城の山頂からの眺望をより良くするため、視界を遮る樹木の伐採や地域で山城を守る活動をしている団体に対する支援を行っています。

### 2 内容

#### (1) 山城の眺望改善

今年度の整備は、楯岩城（太子町）と白旗城（上郡町）の2箇所。前年度実施した整備計画に基づき、市町や地元との現地確認を行い実施に向けた最終調整を図った。

また、次年度に整備する尼子山城（赤穂市）と龍野古城（たつの市）の計画作成にあたり関係者との調整を図った。

なお、整備と計画作成はひょうご農林機構に委託して実施している。

#### (2) 山城に係る住民団体への活動支援

山城に向かう登山道の整備、道標や案内板の設置等の活動に助成するとともに、必要に応じて現地指導を行った。



【山城ロゴマーク】



（楯岩城）



（白旗城）



（城山城）



（看板設置）

### 3 結果・考察

山城に係わる市町や地元住民は、山城は地域の観光資源であるとしっかりと認識しており、これまで独自の取組を行ってきたベースがあり大きな熱意を感じた。

各地域の山城を守る団体が競い合って積極的な情報発信をしているので、それが良い効果となっている。

### 4 今後の取組・課題

熱心な地域住民の活動が継続できるように、取組可能な補助事業を紹介したり、市町での助成制度の創設を働きかける。

### 5 課題に関わった普及指導員

光都農林振興事務所 林業普及指導員 谷口 英樹

## 丹波市立進修小学校間伐体験指導

丹波農林振興事務所 雜賀 謙彰

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(多様な主体による森づくり活動の推進)

### 1 はじめに

進修小学校には学校林（通称：きこりんやま）があり、以前から児童の間伐や植栽活動指導を行っており、今年度も依頼を受け間伐体験指導を行った。進修小学校では従来から①森林・林業の話、②間伐体験に加え、③実際に間伐した丸太を製材、④木工品製作と一連での実施に取組んでいる。

今回②の間伐体験について、伐採デモや間伐木の製材所搬入等について関係者との調整、伐採届出指導、当日の全体のコーディネートを普及指導員が担った。

### 2 内容

- (1) 期間：令和3年10月26日（火）
- (2) 場所：進修小学校学校林「きこりん山」（丹波市春日町野村）
- (3) 対象者：進修小学校3年生17名および教員
- (4) 内容：間伐体験指導
  - 1) 間伐について説明
  - 2) 間伐体験
  - 3) 伐採デモ（チェーンソーによる伐倒見学）
  - 4) 薪割体験

### 3 結果・考察

#### （1）間伐についての説明

- ・ 間伐の目的や伐倒方法について、図により受口、追口による伐り方の説明を行った。小学3年生児童ということもあり、伐倒採方法については少し難しかったかもしれない。



間伐についての説明

#### （2）間伐体験

- ・ 事前準備として、小学3年生が伐採できるサイズ、安全性、木工用利用を考慮して、学校林での間伐体験用の伐採木、デモ伐採木の選木し、安全確保のため伐採木をチルホールで予め伐倒方向へ牽引とロープを設置し実施した。
- ・ 間伐体験について、順番に手鋸で少しづつ切り込み、約40分かかったが、最後は子供たちがロープを引いて無事予定どおりの方向に伐倒でき、伐倒時には歓声があがった。



間伐体験

#### （3）伐採デモ

- ・ 伐採デモは、地元の組織育成も兼ねて「丹波市木の駅プロジェクト」と連携しており、子供たちが伐採した木より大きめの木の伐採で、チェーンソーの音や倒れる時の音など迫力を感じ取ってもらえたと思われる。



ロープを引いて伐倒



伐採した間伐木を皆で確認



丹波市木の駅スタッフによるチェーンソー伐採の見学



薪割体験

#### (4) 薪割体験

- 薪割体験については、間伐した丸太を35cmに玉切って、県民局事業で補助した薪割機を使用し、「丹波市木の駅プロジェクト」により薪割体験を実施。

#### 4 今後の取組・課題

以前に比べ子供たちの減少もあり、林業教室は減少している。しかし進修小学校学校林には地元にコーディネーター的な方があり小学校と調整し、間伐体験は農林事務所へ、間伐材製材は市内の製材所へ、木工は地区内の木工作家へと振分けしている。ただ、かなり高齢となっており、今後地域にコーディネーターが必要で、「丹波市木の駅プロジェクト」実行委員会が「木の駅」だけでなく、担い手になることが期待される。

#### 5 課題に関わった普及指導員

丹波農林振興事務所 林業普及指導員 雜賀 謙彰、久保田 誠司、上坂 亮太

## 丹波の里山づくり支援

丹波農林振興事務所 久保田 誠司

推進方策：県民総参加による森づくりの推進  
(多様な主体による森づくり活動の推進)

### 1はじめに

『丹波の森宣言』から30年が経過し、美しい里山を次世代につなぐため、丹波県民局と丹波篠山市、舟波市そして(公財)兵庫丹波の森協会が、丹波の里山づくり促進事業実行委員会を組織して、平成30年から様々な里山づくり事業を実施しています。

### 2 内容

#### (1) 森を未来につなぐフォーラム開催事業

フォーラムは次回令和6年度開催（5年ごと）ですが、里山への入門編の「里山育成研修会」を開催しています。今年で4年目の実施で、内容は次の5回で、延べ97名の参加がありました。

- 第1回（12/18） 「人工林をめぐる環境の変化と将来ビジョンを知る」
- 第2回（1/15） 「木材加工の現場を見学しよう」
- 第3回（2/12） 「里山の広葉樹林をめぐる環境の変化と将来ビジョンを知る」（Web開催）
- 第4回（3/5） 「野地板を使ってインテリア雑貨を作ろう」
- 第5回（3/20） 「生木を使ってみよう（グリーンウッドワーク体験）」



第1回人工林をめぐる環境の変化と将来ビジョンを知る



第2回「木材加工の現場を見学しよう」



第4回「野地板を使ってインテリア雑貨を作ろう」



第5回「生木を使ってみよう（グリーンウッドワーク体験）」

## (2) 丹波の里山づくり発信事業

丹波地域で先進的に活動している10団体を認定し、アドバイザーを派遣し長期の活動支援し、その活動等を広報する情報誌「森のかわら版」を新聞折込みで丹波地域に年2回配布しています。今年度は「森の木がやってきた道のりをたどる」のテーマとしました。



「森のかわら版」R3春号 (R3.3.31発行)



丹波の里山づくり実行委員会 Facebook に掲載



## (3) 丹波の里山づくり体験促進事業

里山づくりの実践のためのチェーンソー安全講習会をはじめ、「木の駅プロジェクト」の伐採搬出体験や交流会開催を支援しています。チェーンソー安全講習会は3回23名が参加し、平成30年度以来231名が受講しました。伐採・搬出体験研修は今年度11回延べ132名の参加がありました。

### 3 結果・考察

#### (1) 里山育成研修会・体験促進事業参加者動向調査について

本取組みも今年で4年目を迎え、これまで過去3年間に実施した研修会（チェーンソー安全講習会、間伐・搬出体験会、里山育成研修会）参加者の動向アンケートを実施しました。

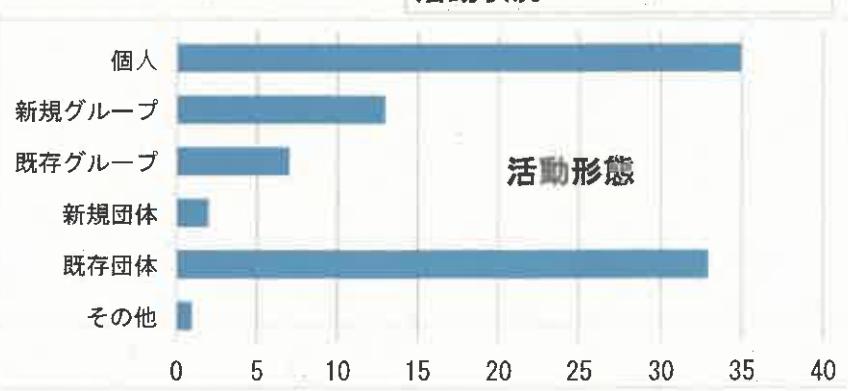
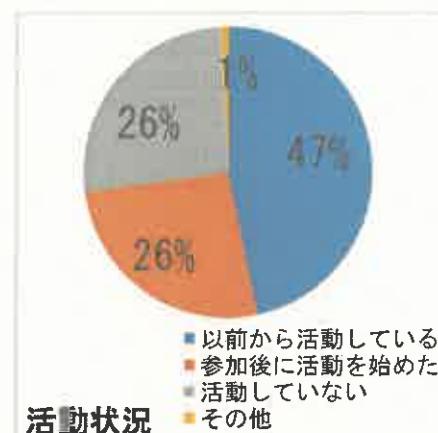
結果は、総数214名のうち約半数の55%から回答がありました。活動状況は「参加前からの活動」が47%に対し、「参加後の活動」が26%、「活動なし」が26%でした。

活動形態は「個人」が35件、「既存団体」33件、「新規」15件、「既存グループ」が13件でした。

活動者の課題は複数回答で「人が集まらない」、「技術」、「経費」が上位を占め、未活動者の理由は、特に40～50代の働き世代で「時間不足」が多く、ついで「技術」、「情報」が上位を占めました。

全体としては、圧倒的に60代以上の回答と活動が多く、「担い手不足」と「高齢化」の課題があります。また20～30代の若年層の参加が低く世代間で里山づくりの意識に乖離が見られます。

回答者の内、既活動がない方の約半数で研修等参加後に活動を始めたこと、新規団体・グループが発足している点は評価されますが、アンケート未回答者の大半はおそらく活動していない可能性が高いと考えられます。



## (2) モデル団体活動支援について

当初の目的は長期継続させるため、単発的な補助金ではなく人的支援としてアドバイザーを派遣してきました。モデル団体の中には代表者交代や活動場所の縮小などで活動を縮小せざるを得ない団体もでてきてています。最も活発なモデル団体であってもリーダーの後継者不足が課題となっています。

このような状況で、アドバイザーも1団体1名専任の個人対応から、今後は諸々の課題に複数のアドバイザーによるパッケージで取組む必要があります。

## 4 今後の取組・課題

里山育成研修会と体験促進事業は今後も継続し、モデル団体支援は要望団体を含めて支援を検討しています。

「森のかわら版」は、高齢者層には紙ベースのほうが読んでもらえるジレンマもありますが、地域外や若い世代へ向けてSNSでの発信に変更し、小さな内容を多数アップする方向で検討しています。

また、従来「地域住民による丹波地域の取組み」としてスタートしましたが、丹波地域の立地を活かして関係人口の創出・拡大するため、経済性・収益性・自立性・継続性のある里山資源を調査・実証を進めていく予定です。そのためにポータルサイトを含め横断的サポート体制構築も検討していきます。

## 5 課題に関わった普及指導員

丹波農林振興事務所 林業普及指導員 久保田 誠司、雜賀 謙彰

## 北但きのこ生産振興協議会

豊岡農林水産振興事務所 福田祐介

推進方策：本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開  
(地域特性を活かした果樹等の高品質・安定生産の推進)

### 1 はじめに

北但地域（豊岡市、香美町、新温泉町の3市町）の原木しいたけ生産者で構成する「北但きのこ生産振興協議会」は、会員の技術向上を目指した取り組みを行いつつ、北但地域の原木シイタケのPR活動を行っており、しいたけの消費拡大並びに生産者の生産意欲の向上につなげています。

### 2 内容

令和2年度、3年度とコロナ禍のため各種イベントが中止になりましたが、北但きのこ生産振興協議会も例年のような活動が出来ませんでした。

このような中、ホダ場診断研修会（7月）及びしいたけの植菌体験（12月）を行いましたので、その活動内容を報告します。

#### （1）ホダ場診断研修会

毎年、6月中旬から7月上旬の時期に、鳥取県にある日本菌蕈センターから講師を招いて各生産者のホダ場を回り、シイタケ菌が原木内に十分蔓延しているかどうかを確認しつつ、良いホダ木とするための伏せ込み方法等についてアドバイスをしてもらう研修会で、会員相互の生産技術の向上を目的に行ってています。

今年度は、豊岡市但東町の3名の生産者のホダ場をまわり、講師から現在の原木内のシイタケ菌の状況の解説があり、今後の改善点等のアドバイスをもらいました。



#### （2）しいたけの植菌体験を通じた但馬産原木しいたけのPR活動

12月11日(土)にJAたじまのスーパーマーケット「たじまんま」(豊岡市八社宮)において、但馬産原木しいたけのPR活動として、しいたけの植菌体験会を開催しました。

定員を50名としていたところ、48名の申し込みがあり、盛況に体験会を実施することができました。なお、実施に際しては、密にならないように、10時からの1部と、11時からの2部に分け、マスク着用の上、植菌作業を行っていただいた。植菌した原木は持ち帰っていただき、自宅でしいたけ栽培に取り組んでもらうこととしました。



電動ドリルで原木に植菌するための、穴開け作業。

### 3 今後の取組・課題

当協議会の会員は、平成23年度には19名いたが、会員の高齢化に伴い、現時点では8名となっている。現会員も70代以上の方が半数を占めており、今後、新たな会員の確保が協議会の課題となっています。

北但きのこ生産振興協議会では、研修会の開催に加え、新規参入者に対しベラン生産者が個別指導を行っていくことも可能であるため、新規参入の意欲がある者についての情報があれば、対応していきたいと考えています。

### 5 課題に関わった普及指導員

豊岡農林水産振興事務所 林業普及指導員 岡田英樹、福田祐介

## 令和3年度市町村森林整備計画の樹立・一部変更に関わった職員

森林 計画区	農林 事務所	市町	区分	学識経験者の意見照会への対応	
				森林総合監理士	林業普及指導員
加古川	神戸	神戸市	樹立	村田 淳	
	阪神	尼崎市	—	—	—
		西宮市	樹立		野村恵美
		芦屋市	樹立		野村恵美
		伊丹市	—	—	—
		宝塚市	樹立		野村恵美
		川西市	樹立		野村恵美
		三田市	樹立		野村恵美
		猪名川町	樹立		野村恵美
加古川	明石市	樹立	竹中 寛		
	加古川市	樹立	竹中 寛		
	高砂市	樹立	竹中 寛		
	稻美町	樹立	竹中 寛		
	播磨町	—	—	—	—
加東	西脇市	樹立	小長井信宏		
	三木市	樹立	小長井信宏		
	小野市	樹立	小長井信宏		
	加西市	樹立	小長井信宏		
	加東市	樹立	小長井信宏		
	多可町	樹立	小長井信宏		
丹波	丹波篠山市	樹立		雜賀謙彰、上坂亮太	
	丹波市	樹立		雜賀謙彰、上坂亮太	
洲本	洲本市	樹立	小長井信宏		
	南あわじ市	樹立	小長井信宏		
	淡路市	樹立	小長井信宏		
揖保川	姫路	姫路市	一部変更	蛭田永規	
		神河町	一部変更	蛭田永規	
		市川町	一部変更	蛭田永規	
		福崎町	一部変更	蛭田永規	
	光都	相生市	一部変更		平野修之
		たつの市	一部変更		平野修之
		赤穂市	一部変更		平野修之
		宍粟市	一部変更	妻形淳史	
		太子町	一部変更		平野修之
		上郡町	一部変更		平野修之
		佐用町	一部変更		大黒明子
円山川	豊岡	豊岡市	一部変更		福田祐介
		香美町	一部変更		岡田英樹、永井英司
		新温泉町	一部変更		岡田英樹、永井英司
	朝来	養父市	一部変更	井上 靖	
		朝来市	一部変更	井上 靖	
3計画区	10農林	38市町			

## II 令和3年度 林業普及指導事業の概要

内 容					
普及指導員の配置	・林政調整班主幹1名 林業専門技術員2名 林業普及指導員等41名 計44名				
普及指導事業の実施計画	・3普及指導区ごとに、普及指導の重点事項を定め、集中的に普及指導活動を実施する。				
普及指導職員等の研修	・重点的課題に対応した研修・林業技術普及研修・段階別研修 ・林業普及指導員近畿ブロックシンポジウム (時期:11月30日 場所:書面審査(大阪府) 発表:森林林業技術センター革新支援担当) ・林業普及職員研修大会・国実施研修				
巡回指導	・普及指導区別の計画等会議の開催 年2回(調整会議及び進捗会議)				
林業普及情報活動システム化事業	① 現地情報の収集及び提供 「年輪」の作成等 (林業普及掲示板の活用) ② 「普及情報報告書」(各事務所作成)の収集及びリスト作成 ③ 特定情報調査の実施 ・林業機械保有状況調査実施 ・林業試験研究情報調査実施 「主伐再造林に係る低コスト更新技術の実証」				
後継者育成	<table border="1"> <tr> <td>指導林家・青年林業士</td> <td>・指導林家・青年林業士登録者数 84名 (令和4年4月1日現在) ・新規認定指導林家3名、青年林業士3名</td> </tr> <tr> <td>林研グループ活動</td> <td>・兵庫県林業研究グループ連絡協議会加入グループ(16グループ)(令和4年4月1日現在) ・近畿ブロック林業グループコンクール参加(8月31日 オンライン開催 和歌山県) 兵庫県の代表発表:村岡林業研究グループ</td> </tr> </table>	指導林家・青年林業士	・指導林家・青年林業士登録者数 84名 (令和4年4月1日現在) ・新規認定指導林家3名、青年林業士3名	林研グループ活動	・兵庫県林業研究グループ連絡協議会加入グループ(16グループ)(令和4年4月1日現在) ・近畿ブロック林業グループコンクール参加(8月31日 オンライン開催 和歌山県) 兵庫県の代表発表:村岡林業研究グループ
指導林家・青年林業士	・指導林家・青年林業士登録者数 84名 (令和4年4月1日現在) ・新規認定指導林家3名、青年林業士3名				
林研グループ活動	・兵庫県林業研究グループ連絡協議会加入グループ(16グループ)(令和4年4月1日現在) ・近畿ブロック林業グループコンクール参加(8月31日 オンライン開催 和歌山県) 兵庫県の代表発表:村岡林業研究グループ				
林業事業体等の森林・林業研修会	・林業技術普及研修(林業経営、施業技術、林産)等				
革新支援担当の取組  林政調整班主幹 林業専門技術員	全県的な普及課題に対応するため、普及担当課長等、研究機関、林業関係団体と連携し、政策課題や研究成果の普及、現場ニーズに応じた全県横断的な普及活動の支援、研修の企画・運営を行う。  (主な課題) ① 森林資源の循環利用と林業経営の効率化(主伐再造林普及モデルの構築) ② 県産木材の利用拡大と加工流通整備の強化 ③ 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進				

## 令和3年度 林業普及指導職員等の研修実績

研修名		実施回数	研修人員	研修日数	備考
県実施	革新支援普及研修	全 域	1	55	1 10/7生産森林組合研修(ウッドショックについて)
	段階別研修	普及担当課長等	1	19	1 4/30 担当者会議オンライン開催
		新任再任AG研修	1	16	1 9/15 オンライン開催
	林業技術普及研修 (普及指導員専門 項目別研修)	森林經營	3	64	3 7/6、8/6、10/29 コスト分析研修
		造 林	4	62	4 9/27作業システム(香美)、10/5林業種苗(緑化セ ンター)、10/8シカ被害防除とコンテナ苗植栽(養 父)、2/17播磨の緑接ぎ木(センター苗畠)
		林 産	3	56	3 7/26(山崎)、8/5(丹波)、8/23(和田山) 木材市 場調査研修
		森林保護Ⅱ	1	31	1 10/15森林動物研究センター森林動物指導員研修 (生息地管理・森林被害対策研修:丹波市市島町)
	林業普及活動報告会		1	46	1 2/1 主伐・再造林調査報告研修会オンライン開催
研修名		研修人員	研修日数	備 考	
国実施の研修	本所 (八王子)	森林計画(森林調査・ 計画策定)	1	5	7月 久村
		森林整備事業	1	4	12月 井上
		林業金融実務・税制	1	3	7月(オンライン) 小野寺
		森林組合指導担当者 基礎	1	3	6月(オンライン) 石川
		森林作業システム	1	3	10月(オンライン) 鈴木
		木材産業・木材利用 (基礎知識・バイオマス利用)	1	4	12月(オンライン) 和田
		公共建築物等木材利 用促進	1	3	11月(オンライン) 松下
	森林総合監 理士育成	前期(八王子)	3	3	6月(オンライン) 妻形、畠井、兼光
	林業成長産業化構想技術者 育成研修(中央+近畿中国)		2	中央 フ'ロック	3 7月 太田垣、倉橋 3 11月 太田垣
	林業普及指導職員全国シンポジウム		1	1	東京都 1/18書面審査 尾崎(パワーポイント視聴審査)
	林業普及指導職員近畿ブロックシ ンボ"ジウム		1	1	大阪府 11/30書面審査 尾崎(パワーポイント視聴審査)
	近畿ブロック林研グループコンクー ル		4	1	和歌山県 8/31(オンライン) 永井、尾崎、小長井、倉橋

令和3年度 林業普及指導職員名簿

令和3年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名	普及指導区	森林 総合 監理 士	専 門 項 目						
					森 林 經 營		施 業 技 術			林 産	
					林業 経営	機能 保全	造林	森林 保護 I	森林 保護 II	林業 機械	林 産
高 謙	林政調整班主幹	倉橋 路枝	全県	○	○		○			○	○
高 謙	林業専門技術員	尾崎 真也	全県		○		○	○	○		
(3名)	林業専門技術員	小長井 信宏	全県	○		○		○		○	○
(3名)	主任	山下 豪	全県			○	○	○		○	
春 明 大 学 校	課長補佐	浅田 知宏	全県				○				
春 明 大 学 校	森林動物専門員	田口 彰	全県						○		
(3名)	森林動物専門員	井上 裕司	全県						○		
(3名)	野生鳥獣資源活用専門員	石川 修司	全県						○		
	計	8名			2	2	2	4	2	5	2
										2	1
阪神淡路	農政専門員	土井 幸亮	神戸市							○	○
	課長補佐	南都 義道	神戸市				○	○			
	課長補佐	村田 淳	神戸市	○					○		
	里山・森林課長	野村 恵美	管内全域	○				○			
	(2名)	職員	森本 祥子	管内全域				○		○	
	農政専門員	柴原 隆	加古川市・高砂市					○		○	
	(2名)	課長補佐	川崎 大	明石市・稲美町・播磨町	○		○				
	所長補佐兼森林課長	中阪 雅洋	管内全域	○	○						
	農政専門員	片岡 好章	三木市・小野市・加西市		○					○	
	課長補佐	下田 惣一	多可町		○	○					
	(4名)	主査	歴井 良幸	西脇市・加東市			○	○	○		
	所長補佐兼森林課長	上野 茂樹	管内全域		○			○		○	
	(2名)	主査	大橋 正知	管内全域	○	○	○	○			
	計	13名			1	3	5	3	4	7	2
										5	0
中播西播	森林専門員	蛭田 永規	管内全域	○		○			○		
	農政専門員	藤井 孝明	市川町・福崎町	○						○	
	主任	鈴木 大智	姫路市				○	○			○
	(4名)	主任	藤原 美雪	神河町			○			○	
	所長補佐兼森林第1課長	谷口 英樹	管内全域	○				○			
	課長補佐	有元 正彦	宍粟市波賀町・千種町					○			
	課長補佐	平野 修之	たつの市・太子町・相生市・赤穂市・上郡町		○			○			
	主査	妻方 淳史	宍粟市山崎町							○	
	主査	宗接 聖史	宍粟市一宮町							○	
	(6名)	主査	大黒 明子	佐用町	○						
	計	10名			1	3	2	1	1	5	2
										2	1
但馬丹波	森林課長	岡田 英樹	美方郡	○					○		
	課長補佐	福田 祐介	豊岡市				○				○
	主査	溝口 達普	豊岡市							○	○
	(4名)	主任	永井 英司	美方郡	○		○				
	森林第2課長	上田 敦祐	朝来市	○	○				○		
	農政専門員	井上 靖	養父市	○						○	○
	課長補佐	濱田 和則	朝来市(朝来・和田山・生野地区)	○		○					
	課長補佐	尾畠 俊彦	養父市(養父・八鹿地区)				○	○			
	主任	梅垣 博之	養父市(大屋・關宮地区)	○	○						
	森林課長	雜賀 謙彰	丹波篠山市	○				○			
	課長補佐	久保田 誠司	丹波市柏原町・山南町		○	○				○	
	課長補佐	上坂 亮太	丹波市春日町・市島町				○	○			○
	(4名)	主任	津禪鹿 信雄	丹波市氷上町・青垣町	○						○
	計	13名			4	5	3	3	3	4	3
	合計	44名			8	13	12	11	10	21	9
										12	5